

議会全員協議会

◇行政から説明のあった案件◇

旧番所会館の今後の対応

観光地、景勝地として市内外から多くの観光客が訪れる番所公園。この公園内にはかつて「番所会館」という商業施設がありました。番所会館は市有地に民間人が建設したもので、民間人の所有物です。

H17年、番所会館は閉鎖。老朽化した施設が市有地に残されています。

民間人の所有物である旧番所会館について、市から議会に「安全面と景観面から、建物を撤去する訴えの提起と市の予算で建物を撤去したい」という説明がありました。議会として認めるのか、今後の検討課題となっています。



南九州市消防団の再編計画

消防団の組織再編について、市はH30年度から34年度までの5か年計画を策定します。

団員数確保の負担軽減、確実に出動できる初動体制の強化を図り、効率的な組織体制によって、より活動しやすい整備と適正な配置を進めることが目的です。

地域の消防力の格差を解消するため再編しますが、旧町の枠組みである3方面隊は引き続き継続していくこととしています。

統合・再編のモデル案として、別府地区にある4分団を統合し、別府分団（仮称）とし、活動することになります。

その他の分団については、段階的に統合・再編を進めていく計画です。



南九州市議会議員定数等調査特別委員会の設置について

来年12月の市議会議員選挙を見据え、南九州市議会では、議員定数等について調査するため、特別委員会を設置しました。委員長に西次雄議員、副委員長に大倉野忠浩議員が選任されました。

第1回の委員会は7月12日に行われ、議員間の討議がなされました。以後も委員会を重ね、本年12月を目安に結論を出す予定となっております。

◎議員定数の推移

時期	定数
平成19年 選挙	24人
平成23年 選挙	22人
平成27年 選挙	20人

◎常任委員会の委員定数

常任委員会	定数
総務常任委員会	7人
文教厚生常任委員会	6人
産業建設常任委員会	7人

※特別委員会では、「議員定数については、常任委員会の構成を考慮する必要がある」との意見が出されました。

～議会を体験～

松山小と松ヶ浦小の3年生17人が議会を体験
6月14日に松山小学校3年生15人と松ヶ浦小学校3年生2人が、校外学習で議会を体験しました。議場でそれぞれ議員席に座った児童は、手を挙げて市役所の仕事について質問しました。



6月定例会において、松山地区25人の方々が議会を傍聴されました。
松山地区 文化産業部長 山元 良好
先日、6月20日に松山地区の役員を中心に、議会を傍聴させていただきました。午前10時から12時までのわずかな時間で、松山地区のさらなる発展に力の限り尽力されることを期待します。



～傍聴席から～

全国市議会議長会表彰等

平成30年5月30日、東京で開催された第94回全国市議会議長会定期総会において、長年の議員活動を通して、地方自治の発展と市政の振興に貢献した功労に対して表彰がありました。



(10年表彰)
菊永 忠行 議員



(20年表彰)
竹迫 毅 議員



(感謝状)
蔵元 慎一 議員



(感謝状)
伊瀬知 正人 議員